

報道各位
プレスリリース

MKグループ

小篠ゆま氏デザインにより
MKタクシー15年ぶり制服リニューアル
～エムケイ株式会社60周年記念～

エムケイ株式会社（本社：京都市南区、社長：青木信明）をはじめとするMKグループでは、1960年京都でのタクシー運行開始以来、本年2020年で60周年を迎えるのに合わせ、15年ぶりとなる制服リニューアルを行います。

新制服は、前回と同じく、コシノヒロコ氏の次女でファッションデザイナーの小篠ゆま氏にデザインを委託。「お客様の満足」「従業員の満足」「社会への貢献」という「三方よし」の精神を軸に、お客様からご覧いただいたときの清潔清楚感、従業員の着心地や機能性・耐久性、環境に優しいリユース（社会貢献）などに配慮しつつ、東京オリンピックに向けた世界に通用するデザイン、シンプルでありながら「MKらしさ」が感じられ長く愛用できるデザインに仕上げていただきました。

超高齢社会や訪日外国人の増加など日々変化する社会情勢の中において、ドア・トゥ・ドアの移動サービスを提供するタクシー事業の重要度はますます増しており、弊社といたしましても、この度の制服リニューアルを機に、より洗練されたサービスの提供に努めてまいります。

【新制服について】

○対象 MKタクシーグループ 全国9社

（エムケイ株式会社、札幌エムケイ株式会社、東京エムケイ株式会社（※）、名古屋エムケイ株式会社、滋賀エムケイ株式会社、大阪エムケイ株式会社、関空エムケイ株式会社、神戸エムケイ株式会社、福岡エムケイ株式会社）

※東京MKはネクタイのみリニューアルとなります。

●対象者 約3,200人

●台数 タクシー1,491台／ハイヤー418台

○導入日 令和2年3月21日

○制服の種類

冬季コート

男女ともにパンツスーツ

男性：三種類のジャケット（北海道限定防寒用含む）・ベスト・シャツ・ネクタイ

女性：女性用ジャケット・ベスト・シャツ・スカーフ（ネクタイも併用）

※オールシーズン着用、組み合わせは季節により異なります。

○デザイン 小篠（こしの） ゆま氏

プロフィール

文化服装学院服飾研究科卒業。卒業後は、フランス、イギリスにて研鑽を積む。

1998年に自身のブランド「YUMA KOSHINO」を発表。

感性のエネルギーを楽しく心地よいデザインで表現し、幅広い支持を得ている。現在、HIROKO KOSHINO

ブランドのクリエイティブディレクターも務めるほか、映画や舞台への衣装提供、企業や学校などのユニフォームを数多く手掛けている。

母は、日本のファッション界を代表するコシノ三姉妹の長女コシノヒロコ。



○製作 青山商事株式会社 〒721-8556 広島県福山市王子町 1-3-5

メインデザイン（男性ドライバー①）

ハイヤーなど（男性ドライバー②）



○主な使用素材 主な機能

アイテム	生地名	混率	特徴
コート	ウェールディ	ポリエステル100%	シワ防止加工を施した、綾織りで表面感に特徴のある丈夫な素材。
男女 ジャケット		ウール30%	シートベルトの 摩擦に強い 強力ナイロンを使用。
男女 ベスト	シャドーストライプ	ポリエステル45%	通常の5倍となる 10万回もの摩擦試験をクリア 。
男女 パンツ		ナイロン25%	防菌、防臭で洗濯が可能なイージーケア対応
男女シャツ	フルダルトリコット	ポリエステル100%	【ストレッチ性】ニット素材を採用しストレスのない着心地を重視。
			【形状記憶】形態安定に優れる。
			【防透性】フルダル糸を63%使用し透けを防ぐ素材。
			【イージーケア】シワになりにくく、アイロンがけが容易。
			【抗菌・防臭性】SUNSAWER加工を実施。SKEマーク（青）合格基準を取得。
ネクタイ		ポリエステル100%	CIである♡マークを配したものと、CIカラーのオレンジとピンクの配色の2種類
スカーフ			CIカラーのオレンジとピンクの配色

(1) 男性ドライバー用制服 ※写真①

表面感のある縦組織のヘリンボーン素材を採用し、ハンティングスタイルを基本にしたデザインです。用途によってクローズカラーでの着用もできるように機能性も考慮されています。

(2) 男性ドライバー用制服 ※写真②

素材は①と共通です。気品ある英国トラッドのテーラードをデザインソースに取り入れ、襟にはピークドラペルを採用。上質で限られたエクスクルーシブラグジュアリーを演出。ベストは、テーラード襟のゴージライン風切り替えがデザインポイントです。

(3) 男性ドライバー用制服（北海道限定）

英国ショーファーのイメージを取り入れ、札幌の気候に合わせた中綿入りジャケットとなっております。

(4) 女性ドライバー用制服

スタンドカラーで正統感を残しながら、日本らしい着物の打ち合わせをジャケットとベストに取り入れております。広く開いた襟元からは華やかな MK カラーのスカーフがあしらわれております。袖山に配したギャザーや、高めの位置でほどよくシェイプされたウエストラインには、デザイナーが独自に開発したクチュールの要素が盛り込まれています。

(5) 男女シャツ

フォーマルな印象を与える袖口のダブルカフスには、カフリンクス風ドット釦を使用し機能性を考慮いただきました。身頃に施した黒いパイピングは全体を引き締め、特に前立て部分の両端のパイピングは、ノーネクタイの時でも清楚な装いを感じさせます。

(5) コートジャケット

格調のあるダブルの打ち合わせはクラシックと正統さが表現され、前身頃には中綿を入れ、防寒対策が施されています。

【備考】MKグループの制服の変遷



■初期（1971年5月より）

一般的なタクシー乗務員と違った制服による差別化や意識の向上が必要との考えから、新制服を検討することになった。

濃い茶色で上着丈の短いジャケット風だった。

■縞シャツに蝶ネクタイ（1974年6月より）

白シャツとネクタイはそのままだったが、上着はブルーのスーツ風の上品なものに変更。この時初めて帽子を着用。

その後、白シャツから太い紺のストライプのシャツに変わり、ネクタイも同時にエンジの蝶ネクタイに変わった。



■モリハナエデザイン（1983年10月より）

1982年頃、日本で一番のデザイナーと言うことで森英恵氏に依頼。容易に承諾が得られなかったが、MKグループ創業者の青木定雄がタクシードライバーの制服の必要性を訴え実現した。

「尊敬されるパイロットと同じ大切な命を預かるのに、なぜタクシー乗務員は尊敬されないのか。そのために世界の森英恵先生の制服が必要です」

森英恵氏のデザインが評判となりテレビ・雑誌等に取り上げられた。

■小篠ゆまデザイン（2005年10月より）

MKタクシー45周年を機に制服を一新。テーマカラーはフォーマル感のある黒。ベストのストライプやネクタイのドットに高級感のあるシャンパンゴールドをポイントカラーとして配した。

シャツの白を合わせ3色にまとめられたスタイリッシュな印象で好評だった。



【MKグループ概要】

「MKタクシー」を運行するエムケイ株式会社（京都市南区、社長：青木 信明）は、1960年京都で創業、グループで国内8都市にてタクシー・ハイヤーなどを運行。タクシーでもハイヤー並みの接客を目指し、ハイヤーではその中でも特に優秀と認められたドライバーによるサービスを提供しています。丁寧で上質な接客、ハイグレード車両、外国語対応ドライバーなど業界に先駆けた取組を積極的に行っています。

事業としては、創業地である京都でボウリング場1カ所をはじめとするアミューズメント事業も手がけるほか、グループ会社として、京都でガソリンスタンド事業などを手がけるエムケイ石油株式会社、京都・大阪・神戸・愛知などで観光バスやスクールバスなどを運行するエムケイ観光バス株式会社を展開。

タクシー・ハイヤー事業では現在、国内8地域（京都、札幌、東京、名古屋、滋賀、大阪、神戸、福岡）にグループ会社を展開している。

グループ合計でタクシー・ハイヤー1,909台、バス160台（2020年1月時点）。

（内訳） 京都MK	タクシー731台	ハイヤー139台
札幌MK	タクシー105台	ハイヤー4台
東京MK	タクシー94台	ハイヤー177台
名古屋MK	タクシー109台	ハイヤー2台
滋賀MK	タクシー68台	
大阪MK	タクシー143台	ハイヤー60台
関空MK	タクシー14台	
神戸MK	タクシー177台	ハイヤー36台
福岡MK	タクシー50台	
MK観光バス	バス160台	

MKグループWEBサイト <https://www.mk-group.co.jp/>

【お問い合わせ】

●MKグループに関するお問い合わせ

エムケイ株式会社 経営企画部 TEL:075-555-3186 FAX:075-693-8353